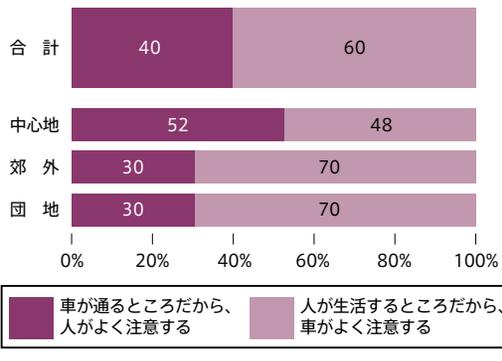


【手法 19】

道端で暮らす

道端は小さな子ども達にとって、お母さんにつながった安心できる遊び場です。またお年寄りにとっては、知り合いが通るかもしれない出会いの空間ですし、お母さんにとっては、ご近所さんとの井戸端会議場です。道をもう一度人の手に。

道は誰のもの？ ～家の前の道の考え方～



出典：市民アンケート (p11参照)



道の掃除

道

花の水やり
 たくさんさんのプランターにインパチェンスが真っ盛り。この花は水を欲しがると植物で水やりが大変です。「今年もきれいに咲きましたねえ」

メダカの話
 玄関先に水盤があつて、目を凝らして見ると小さな小さなメダカがいました。メダカは学校をつくって、給食の時間を待っています。

道端での特訓
 車のめったに通らない住宅地の道で、お母さんとのドッジボールの特訓が始まりました。ちよつと坂道ですので、失敗するとボールが転がっていつて大変です。

家前の道の掃除は、それぞれの家でやっています。最近では子ども達の登校時間に合わせてするところもあります。「おはようございます」「おはようございます」今日は寒いね



【手法 20】

近所のおばさん

昔のまちには、おばさん、おじさん、おばあさん、おじいさんがいました。まちに深く関わり、うるさかったり、おせっかいだったり、やさしかったり、怖かったり。こども達はこういっ
たまちの人達にも育てられました。あなたも近所のおばさんになりませんか。

作りのお休み処があります。自宅前を通る女子高生や近所の子ども達とも大の仲良しです。



幸せ坂と名付けられたこの坂には廃品でつくった佐合さんの作品がずらり。エノラゲイ、原爆、太陽の塔など昭和の歴史の絵巻となっています。登り切った所には手

まちの廃品
アーティスト

れあうことによって、感性が豊かになると思っています。また、年齢の高い方だとふれあい易く親子ともに気持ちよく過ごせます。



近くの児童センターには、ボランティアで絵本の読み聞かせをしてくださる方がいます。子供にとっては家族だけではなく、他の人と、いろいろな事を通してふ

読み聞かせ
おばさん

いたことも言えたのだと思います。声かけは人と人のつながりのきっかけをつくるものであり、このきっかけづくりが大切だと考えています。



子ども達への普段からの声かけによって、子どもとのつながりは子の成長に伴い、深まっていくものであると思います。昔の人は、人と人のつながりが出来ていたから、お互いに言

声かけおじさん

「隣人祭り」を してみませんか

18年前、パリの片隅で、お年寄りの孤独死をきっかけに1人の青年が始めた小さなパーティーが、世界28ヶ国750万人が参加する一大イベントとなっています。「隣人祭り」と名付けられたこの祭りは年1回、同じアパートや地域に住む隣人が集まり、食事やお茶をしながら気軽に語り合うものです。世界中で5月の最終火曜日に開催されますが、日本では火曜日だと人が集まりにくいので、その日に近い土曜日に行われています。この日にこだわる必要はありませんが、あなたもやってみませんか。「隣人祭り」日本支部というものもあります。



【手法21】

祭りは人を楽しくします。祭りは人の心を開きます。祭りは人の心をひとつにします。毎日が祭りのような世の中ですが、その一方で身近な地域の祭が姿を消しています。まちの人たちがひとつになれる祭りがあるとまちが燃えます。

どんど焼きは、その年飾ったしめ縄かざりや書きそめなどを持ち寄って焼き、その火で焼いた餅を食べるとその年の病を除くと言われている火祭りです。根本地区では区、まちづくり市民会議、児童センターが中心となり、地域の伝承行事として毎年行なっており、焼いたお餅やぜんざいを食しながら交流を深めています。



どんど焼き

古くから土岐川南の地域（旧多治見村）に伝わる伝統のある新羅神社の祭礼で、この地域の秋の風物詩です。2区〜8区までの間で当元を回し、老若男女で総勢3000人を超える人がかかわっております。3区の神明神社から7区の新羅神社までを先頭に天狗様、その後を御神刀、五色旗、槍を持った神官に扮した大人が続き、若者神輿、子供神輿、稚児行列などで2時間かかりでゴールします。



新羅神社の祭り



【手法 22】

公園に集まれ!

まちには公園があります。緑も多く、休むところもあってとても魅力的な場所です。でも唯一欠点があります。それは人が少ないことです。それならば、曜日と時間を決めてとりあえず集まってみませんか。おやつや飲み物を持ち寄れば、楽しくなること請け合いです。

笠原町平園区では、平成8年度を初年度に地域の子どもの元気な成長を願い、また地域の伝統行事となるように、笠原梅平運動公園で毎年5月下旬にこのほり祭を開催しています。内容は、ウォークラリーや小学6年生が主体となり下級生を対象としたクイズゲーム等を行い楽しい一時を過ごしています。

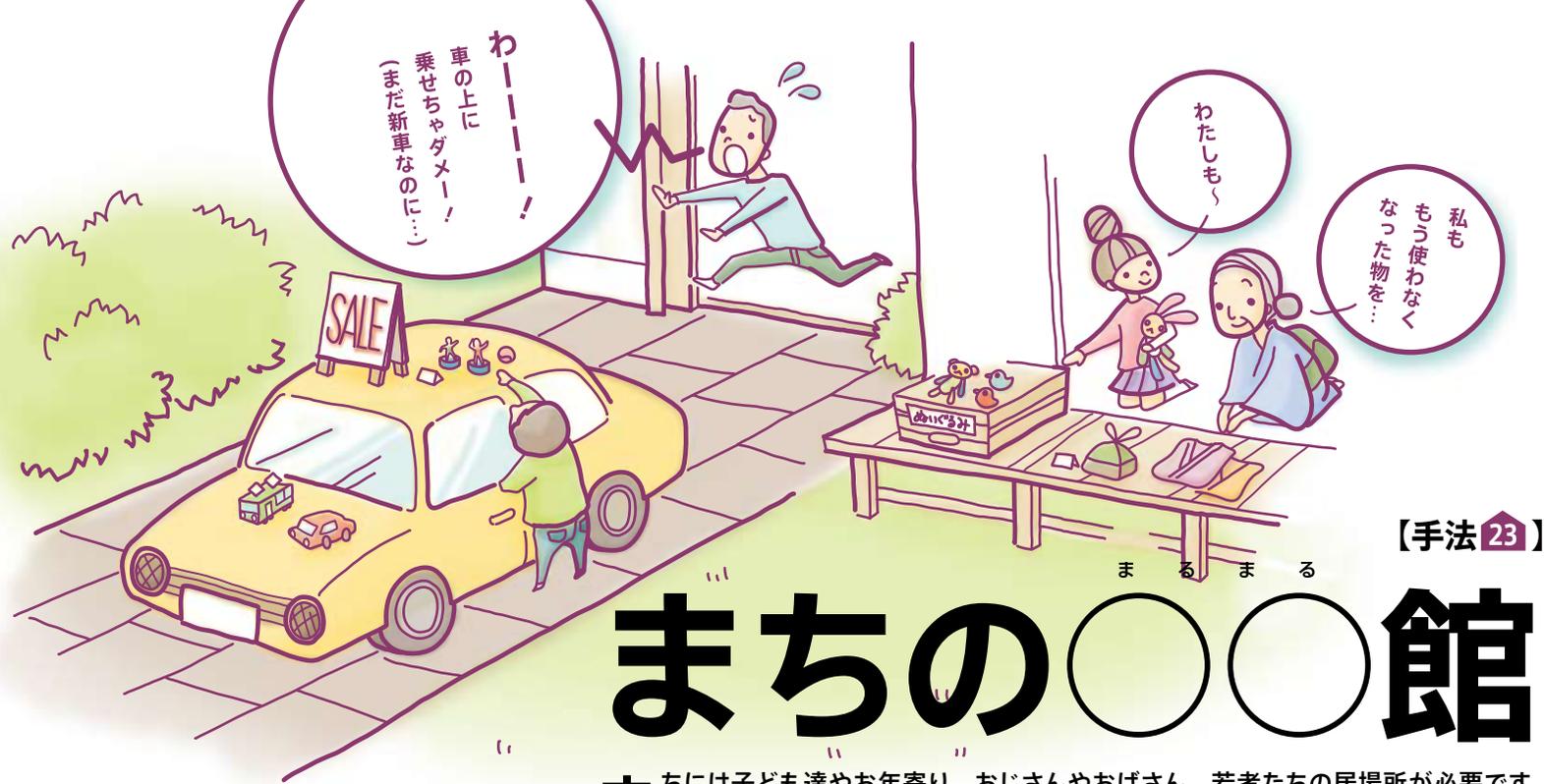


このほり祭り

公園には、天気の良い日に子どもと一緒に週1、2回程度お出かけします。一度行くと2〜3時間遊んだり、仲の良い親子と一緒に誘い合っていて、お弁当持参で集まることもあります。それに、いろいろな方と知り合いになる機会も多い場所です。



公園でピクニック



【手法 23】

まちには子ども達やお年寄り、おじさんやおばさん、若者たちの居場所が必要です。図書館や博物館、喫茶室やトイレも必要です。トビラを閉めた家ばかりが並んだまちは楽しく住むことができるでしょうか。あなたの家をまちの○○館にしませんか。



まちのお休み処

手法20「近所のおばさん」で登場した廃品アートおじさんのつくった畑の中のお休み処です。この方の命名による幸せ坂を登った道沿いにあり、誰でも自由に使うことができます。



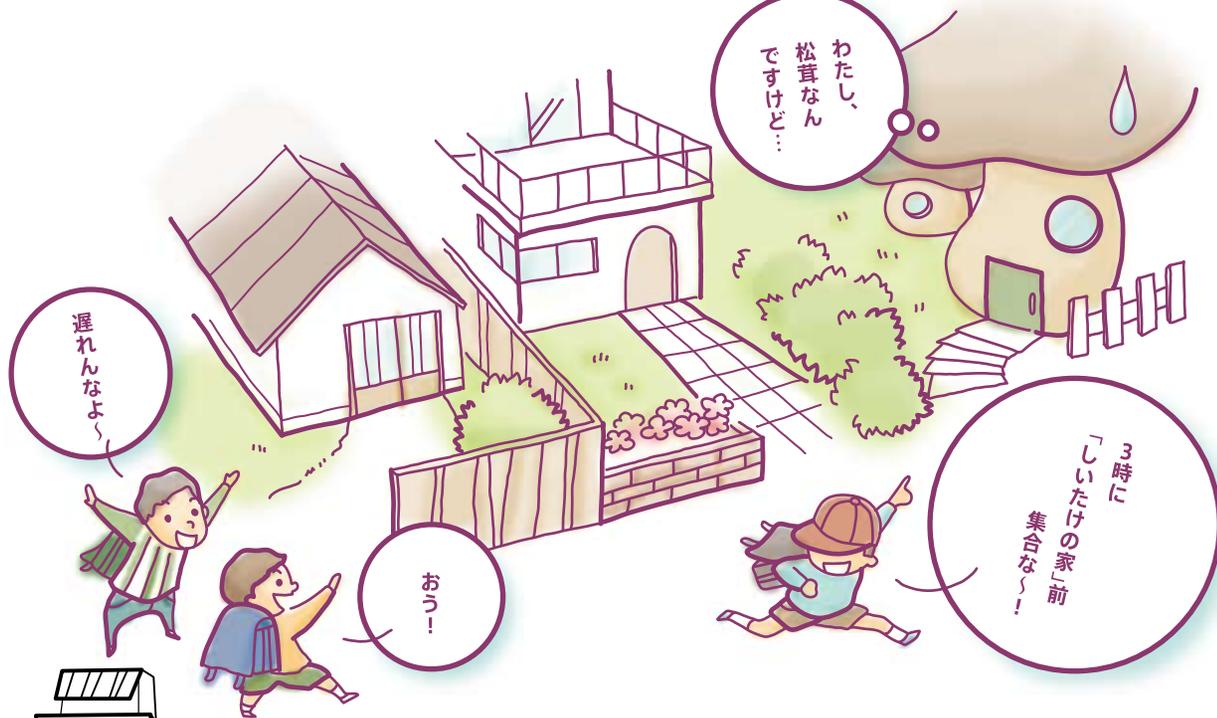
まちの寄合所

ほかほか陽気の日になると、近所に住む仲間たちが知らないうちに集っています。ときには採れたての野菜を持ち寄り交換したり、作りたての食べものを持ってきては皆で食べたりして話に花を咲かせています。



まちの花屋さん

花が好きなので、種から花を育てたり庭を花で飾ったりして楽しんでいます。最初は、道路を散歩している人から花の名前を聞かれたり、立ち止まって花を見ている人と話をしていくうちに、今では花好きな人が集る場所となっています。



【手法 24】

まちのランドマーク

ランドマークとは目印のことです。同じような家ばかりが並んでいて、迷子になった経験はありませんか。そんな時、目印になる建物があると助かります。特に交差点は重要です。「あの〇〇な家を右に曲がって…」



イルミネーション
クリスマスが近づくとまちのあちこちでイルミネーションが色鮮やかに点灯します。それにしてもお見事！



怪獣の木
何に見えますか？ これは木によじ登ったアイビーの元気な姿です。これはどこからこう見ても火を噴く鳥のような姿の怪獣ですよ。



蔵
まちにはまだまだたくさんのお蔵が残っています。よく手入れのされた蔵は漆喰の白さも鮮やかで、はっとする美しさです。たくさんのお蔵が残って欲しいものです。

この愛くるしい眼差しで見つめられたら、つい誰もがニコッと微笑み返してしまいそうです。口の部分は地元の人でできています。それにして可愛いですね。



顔の家



【手法 25】

まちへの木配り

まちの周りにはたくさんの緑がありますが、身近なところには少ない緑。緑は私たちの暮らしに潤いやゆとりをもたらしてくれます。敷地の中にもっと木配りする気配りをしませんか。そうすれば日本一暑いまち多治見も過ごしやすくなるかも知れません。



門かぶりの松
これも日本の伝統的な手法です。松の枝を門の上に覆い被さるように仕立てたもので、その姿形を維持していくのが大変なそうです。



見越しの松
木は外から目立つ所にだけではありません。「お富さん」の歌にも出てくるように、日本の伝統的な手法として堀越しに見える屋敷林の見せ方があります。



森をつくる
敷地全体に木を植えて小さな森をつくってみませんか。特に市街地では緑が少なくて、この森は大きな存在となります。小鳥たちも巣作りに訪れます。

入口辺りに我が家のシンボルとなる木を植えてみませんか。シンボルですからその家らしい木が良いですね。家ごとに植われれば通りは個性的な並木道が出来上がります。



シンボルツリー

緑



【手法 26】

この木何の木、気になる木

どうせ木配りするなら、もう一気配り。いろいろな木を考えてみませんか。花の咲く木、実のなる木、紅葉の美しい木、珍しい木。その木が美しい姿を見せるとき、近所の話の一つになります。「今年もきれいに咲きましたねえ」



暴れん坊松軍

庭から生えた松が塀の基礎からニョキッと道路に顔を出し、板塀の屋根の間から腕を伸ばして門かぶりの松となつていきます。なんと元気でしょいか。



よく手入れされた木

丁字路の突きあたりに立つこのサザンカは、よく手入れされた美しい姿をしています。花の終わった写真ですが、咲いたときの美しさが目に浮かびます。



台杉

少し変わった形をしています杉の木です。手のひらを広げたように仕立てた台の上に、数本の立ち木を育てる仕立て方です。花粉症が心配ですが、花粉は出来ないそうです。

見える所に実得る木を植えませんか。昔はこの家にも大きな柿の木が一本あって鈴成りでした。柿の木の無い家も「おひとつどうぞ」とあちこちから頂いて、家は柿でいっぱいになりました。



実得る木（見える木）

花づくりコンクール

住みよいまちは、市民の一人ひとりが育んでいくものです。その結果として、まちが魅力的になり、やすらぎのある市民生活が生まれてきます。多治見市「花づくりコンクール」は、花を美しく飾り、美しい環境を創りだしている個人・団体・企業を広く募集し、応募者を表彰することにより、まち中を花でいっぱいにし、人の心を和ませ夢と希望を与えるまちづくりを、市民総参加で展開していくことを目的としています。



【手法 27】

ミツバチにもやさしい家

東京の銀座でミツバチを飼って蜂蜜を作るというプロジェクトがありました。ビルの屋上の巣箱から放たれたミツバチは都心の花壇に向かってまっしぐらに飛んでいきました。刺されては困りますが、花をいっぱい植えてミツバチにもやさしい家にしませんか。

毎年テーマを決めて花づくりをしています。玄関前は所狭しと鉢を置いて春をいっぱい感じる場所にしていきます。花づくりは反省も多のですが、先生や友人のアドバイスを聞きながら頑張った結果、立派に咲き誇った花々をみて元気をもらい、ますます頑張ろうという気持ちにつながっています。



interview

13回花づくりコンクールミニガーデン賞



庭木、宿根草を中心に四季を通して花が咲くように花づくりをしています。花は玄関や庭だけでなく道路を通る人にも楽しんでもらえるように植えています。花づくりに大切なのは無理なく楽しみながら出来ることだと思っています。



interview

13回花づくりコンクール特別賞



【手法 28】

よりどり緑

最近の花屋さんの店頭には、パンジーやペチュニアといった定番から珍しい花々まで、たくさんの花がよりどり緑です。定番を見事に咲かせるのも良いですし、珍しい花を育てるのも楽しいものです。「これは何という名前ですか」「\$%#+*\$&なんです」「??？」

多治見で見つけた家先の花々



アメジスト・セージ



エンゼルトランペット



シロタエギク



オキザリス



ハツユキカズラ



チェリーセージ



シュウメイギク



トリトニア



ヘブンリーブルー



マンデビラ



マリーゴールド



ベゴニア



ゼラニウム



ユーリオブスデージ



コリウス



多治見で見つけた事例

緑



【手法 29】

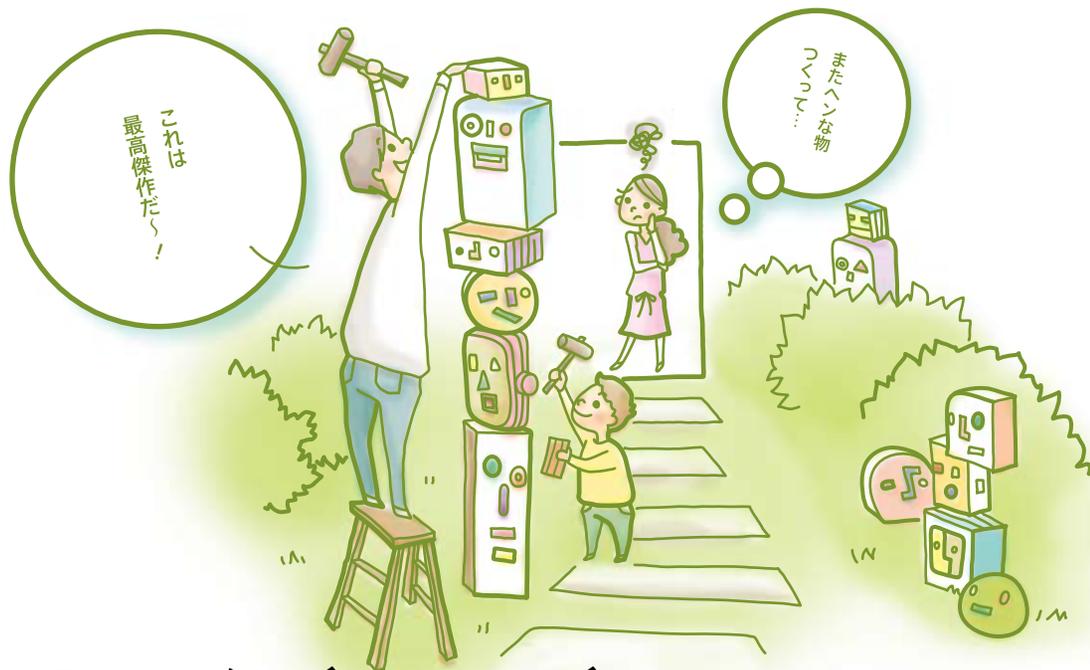
ま ちに向かって少し場所を提供して、そこに誰でも座れるベンチがあればいいですね。家人によるストリートウォッチング。お年寄りが散歩で一休み。近所の子どもが縁台ゲーム。誰か知りあいが通るかも知れません。「やあお久しぶり。ご機嫌いかが？」

ベンチにどうぞ



多治見で見かけた
ベンチ7選

緑



【手法 30】

家先



家先には花木やベンチの他、家先を飾るさまざまなグッズがあります。それらのグッズは家人に選ばれ、家人に作られ、家人の想いを込めて家先に並びます。グッズ達はまち人を楽しませ、家人の想いを伝えます。「まあ、かわいい!」



多治見で見かけた
家先グッズ7選

緑

第3章

家先デザイン手法の

実践事例



事例 1

郊外型①

事例 2

郊外型②

事例 3

まちなか型①

事例 4

まちなか型②

事例 5

最近のデザイン

事例 6

地区計画

木配りのあるオープンな家



南入りで敷地も大きいため、道路までの距離が確保でき、境界を閉じないでオープンにした事例です。庭も含めて家先空間となっており、家とまちがつながっています。家先にはいろいろな木々が配され、適度にプライバシーも確保されています。

木々や花々が自然に振る舞う家



L字型の道の角に建てられたこの住宅は、道の正面ともなるため、ランドマークとなっています。庭はセミオープンで、家の人以上に、道からはよく見ることができます。いろいろな木々や花々が気持ちよさそうに自分の場所を得ているのが印象的です。

まちなかのポケットパークを持つ家



まちなかに建つこの住宅は、周りの建物が道路近くまで建てられているのに対して、大きく後退（セットバック）していて、ポケット状の公園（ポケットパーク）のようになっています。窓の形式やバルコニーの素材も変化に富んでいて、まちのランドマークにもなっています。

【事例4】まちなか型②

宿場町に建つ軒先のある家々



下街道の宿場としての歴史を持つ地域に合わせて開発された分譲住宅群です。まちと家をつなぐ仕掛けやまちの表情をつくるデザイン的な工夫が見られ、独特の雰囲気を持った通りを造り出しています。

最近の戸建分譲住宅事情



窓際族になろう 17

バルコニーからご挨拶 18

駐車場一車=広場 10

どうぞお入りください 06

透塀 02

通りゃんせ 05

門柱 05

まちへの木配り 25

駐車場一車=広場 10

デッキ 30

門道無用 01

歩道それとも駐車場? 10

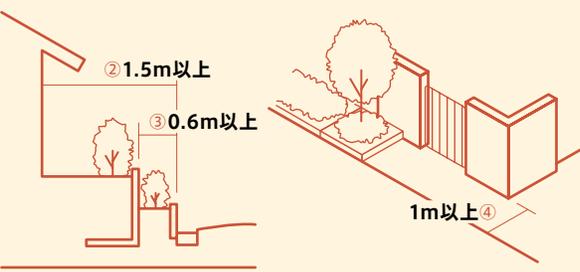
最近よく目にするようになった戸建分譲住宅です。一軒一軒を敷地の境界で囲い込まないで、オープンにしています。敷地内の個々のプライバシーはなくなりますが、道も含めてまわりと共有された親密な空間となります。

家先デザインをルールにしたまち



滝呂町17丁目の
地区整備計画
(A地区)

滝呂町17丁目は地区計画と緑化協定を結び、家先デザインにルールを設けています。また樹木の維持管理もきちんとされていて、平成13年度都市景観大賞の「美しいまちなみ優秀賞」に選ばれました。



- 家先に関連した主なルール
- ① 建築物の敷地面積は最低 200㎡とします
 - ② 建築物の外壁から道路境界線までの距離は 1.5 m 以上とします
 - ③ 擁壁面から道路境界線までの距離は 0.6 m 以上とします
 - ④ 門・門扉の外壁から道路境界線までの距離は 1.0 m 以上とします
 - ⑤ かき・柵は生垣または透視性の良いフェンスとし、ブロック塀などは設置できません

あとがき





日本一暑い多治見市での生活は緑と水が必要不可欠です。

また、多治見市らしさの創設には地産地消も大切な要因です。

そして、この冊子（HOUSE FRONT）も

多治見市内で見つけた家先での建築物から門塀、花壇植物、小物までの

話題提供になるものの事例を取り扱っています。

市民の皆様方でちょっとした工夫があれば、

まちのコミュニティが創設できるはずです。

見やすく面白く工夫しましたので、家づくりの参考にしてください。

多治見市長 古川雅典

この本をつくった人たち

豊田研究室

家先という言葉を使い始めて随分となりますが、
ネットで検索しても「〇〇家先祖考」
「せたがやの家 先着順募集」・・・となって、
未だ認知されていない言葉です。
家先づくりやまちでの暮らしを通して、
人と人の心が通うまちを取り戻すことができればと思います。
家先 (HOUSE FRONT) を多治見から発信し、
大ブレイクできればと期待しています。

豊田 洋一

事務局

平成 16 年発行のたじみの住まい・まちなみ手引書
(recipe (レシピ)) の姉妹編として、作成しました。
多治見の気候風土を活かし、
人とのふれあい (コミュニティ) を大切にした良好で個性豊かな
“住まい・まちなみづくり” のデザインガイドブック
(HOUSE (ハウス) FRONT (フロント)) として、
市民の方々に分かり易い冊子にしたいとの想いで、
研究会そして豊田研究室との協働により完成しました。

建築住宅課 (矢頭、高田)
都市政策課 (細尾、虎澤)
開発指導課 (堀江、中垣)

委員会

市民を代表するかたちで7人の専門家たちが
『家先』と『コミュニティ』にこだわり始まった委員会・・・。
なんと!! 委員会は 82 回を数えました。
委員会の皆さんの協力があったからこそ、
この『HOUSE FRONT』を発刊することができました。
この『HOUSE FRONT』は、実際に多治見に住まう皆さんが、行っていらっしやる
家先デザインの『手法』と『事例』の写真を委員会のメンバーで撮ってきました。
ほんの少しの『知恵』と『アイデア』があれば、あなたの『家先』も必ずかわるはずです。
そして、まちの『コミュニティを育む』機会を作ってはいかかでしょうか?
参考に見てみてください。そして、今日からはじめてみませんか?

会長 加藤 芳晴



9GOTODESIGNWORKS + nori

この本のイラストにはたくさんの
仲良しなまちの人々が登場します。
家先がステキになったら、
まだ出会ったことのない誰かさんとの
新たなコミュニケーションが生まれるかも!
そんな楽しいまちになるといいな、という
想いを込めて描きました。



HOUSE FRONT

ハウスフロント 多治見のまちの家先デザイン手法

平成21年3月発行 定価 300円
監修 多治見市住まい・まちなみ研究会
編集 中部大学豊田研究室
AD&Design ▲ 9GOTODESIGNWORKS
イラスト nori
発行 多治見市建築住宅課
〒507-8703
岐阜県多治見市日ノ出町2-15
TEL 0572-22-1111
<http://www.city.tajimi.gifu.jp>
印刷・製本 木野瀬印刷